

もしもの時に備えて防災を体験しよう
防災TKB出初式記念イベント in TAKANAWA GATEWAY CITY
～災害時における「トイレ (T)」「キッチン (K)」「ベッド (B)」の展示・体験～

防災TKB出初式記念イベント実行委員会は、2025年11月21日、22日にTAKANAWA GATEWAY CITYで「防災TKB出初式記念イベント in TAKANAWA GATEWAY CITY」（以下「本イベント」）を開催します。

本イベントでは、内閣府（予定）、国土交通省、東京都、港区を後援とし、えきと街が一体となったTAKANAWA GATEWAY CITYにおいて、防災に関して情報発信するとともに多様な体験ブース・出展・ステージイベントを行います。

また、イベント開催に合わせて11月21日には「防災TKBフォーラム」と題して有識者からのパネルディスカッションやフォーラムも開催いたします。



概要

(1) 開催日時

2025年11月21日（金）10:00～17:00（防災TKBフォーラム13:00～16:00）
2025年11月22日（土）10:00～17:00

(2) 開催場所

TAKANAWA GATEWAY CITY Gateway Park（高輪ゲートウェイ駅改札を出てすぐ）
※防災TKBフォーラムはTAKANAWA GATEWAY Convention Center 6F Conference Hall C

(3) 開催趣旨

近年、災害発生時の避難所環境の向上が大きな課題となっています。快適な「トイレ (T)」、温かい食事「キッチン (K)」、身体を休める「ベッド (B)」の設置に加え、こどもたち「チルドレン (C)」へのケアが必要です。
TKB+Cの対策を体験しながら防災意識を高めていきましょう。

(4) 関係者

主催：防災TKB出初式記念イベント実行委員会
後援：内閣府（予定）、国土交通省、東京都、港区
協賛：東日本旅客鉄道株式会社

(5) 概要 (イベントコンテンツ)

① 体験型展示

1. トイレ (T) コーナー：災害用トイレの展示

災害時のトイレ事情や改善策についてパネル等で解説。組立て式の快適トイレ*や建物内で活用する携帯トイレ・簡易トイレなど時間経過に応じたトイレの備えを紹介。

*国交省が標準仕様を公開している従来よりも快適に使える仮設トイレ



携帯トイレ
(写真提供：NPO 法人日本トイレ研究所)

2. キッチン (K) コーナー：大型テントでの食事体験

災害時は、眠る場所とは別に食事空間を設けることが健康を守る上で重要。食堂テントでは、コンパスグループ・ジャパン株式会社より、社員食堂で用いている食材を活用し、栄養バランスに配慮した災害時の食事をご提案。食事をしながら、災害関連死を防ぐために必要な学びを提供する。



避難所の食堂 (写真提供：水谷嘉浩氏
(一般社団法人避難所・避難生活学会 代表理事))

3. ベッド (B) コーナー：段ボールベッドの体験

避難所等での雑魚寝などによる窮屈な環境を解消し、身体を休めるための段ボールベッドを紹介。段ボールベッドの強度や寝心地、組立て方法などを体験。



段ボールベッド (写真提供：水谷嘉浩氏
(一般社団法人避難所・避難生活学会 代表理事))

4. チルドレン (C) コーナー：こどものリラックス

災害時にこどもが安心して遊ぶ空間の必要性を提案。こどもをケアする専門家と連携して避難生活でのこどもの居場所づくりを提案。絵本専門士による絵本の読み聞かせ等を開催。

② 協力企業ブース

防災に関する取り組み紹介・展示など

③ 防災 TKB ステージ

防災をテーマにしたこども向けの絵本の読み聞かせや、専門家が登壇するトークショー等を開催します。

④ 防災 TKB フォーラム

行政機関・企業の防災担当者・地域住民などを対象として、海外の事例紹介や災害関連死対策、都市型防災などについて実践的な取り組み事例を共有します。

【プログラム】

<発表1> イタリアの災害対応の考え方とベッド導入の重要性

水谷 嘉浩 氏（一般社団法人避難所・避難生活学会 代表理事）

<発表2> 都市における災害時のトイレ問題と対策

加藤 篤 氏（特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事）

<発表3> 飲食店組合との専門職による炊き出し体制の確保

森川 博 氏（熊本県益城町 危機管理課 課長）

<発表4> 港区における「リアル防災都市」の推進

野澤 靖弘 氏（東京都港区 副区長）（予定）

<発表5> 災害時の物流問題への対応とフェーズフリー型物流インフラの必要性について

田路 圭輔 氏（株式会社エアロネクスト 代表取締役社長 グループ CEO）

意見交換：TKB から始まる防災のアップデート～100年先につながるレジリエンスシティ～

パネリスト 水谷氏、森川氏、野澤氏、田路氏、高橋 武氏（東日本旅客鉄道株式会社）

進行 特定非営利活動法人日本トイレ研究所

※プログラムや登壇者は一部変更となる場合があります。

※防災フォーラムは事前予約制です。

※フォーラムは定員となり次第、締め切らせていただきます。

申し込み方法

① フォーラム参加申込書（自治体防災担当者用）



② フォーラム参加申込書（上記以外の方用）



※フォーラムに関するお問い合わせ：特定非営利活動法人日本トイレ研究所

MAIL：laboseminar@toilet.or.jp

■会場イメージ



※本イベントの内容は一部変更・中止する可能性があります。

※本イベントは雨天決行、荒天時は中止となります。

※イベント風景の様子を TAKANAWA GATEWAY CITY 公式 HP や各種 SNS に掲載させていただく場合がございます。予めご了承ください。

■防災 TKB 出初式実行委員

委員長 清家 愛（港区長）

副委員長 加藤 篤（特定非営利活動法人 日本トイレ研究所 代表理事）

鈴木みゆき（國學院大學 人間開発学部 子ども支援学科 教授）

福井 照（一般社団法人 国土強靱化・防災・減災支援機構 理事長）

水谷 嘉浩（一般社団法人避難所・避難生活学会 代表理事）

糸山 剛（高輪地区町会自治会連合会 高輪ブロック長）

高橋 武（東日本旅客鉄道株式会社 常務執行役員

品川・大規模プロジェクト推進部門長）

小沼 智子（一般社団法人 高輪ゲートウェイエリアマネジメント 代表理事）

天内 義也（一般社団法人 高輪ゲートウェイエリアマネジメント 事務局長）

<参考>

■JR 東日本「TAKANAWA GATEWAY CITY」について

品川開発プロジェクトの一環として、江戸の玄関口としての役割を担った歴史的背景および国内初の鉄道が走った地におけるイノベーションの記憶を継承し、開発コンセプトに「Global Gateway」を掲げ、「100年先の心豊かなくらしのための実験場」として新たなビジネス・文化が生まれ続けるまちづくりに取り組んでいます。

2025年3月27日には、THE LINKPILLAR 1 が開業し、高輪ゲートウェイ駅が全面開業しました。その他の棟（THE LINKPILLAR 2・MoN Takanawa: The Museum of Narratives・TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE）および各棟周辺エリアは2026年春に開業します。

TAKANAWA GATEWAY CITY では、都市再生特別地区（品川駅北周辺地区）都市計画で防災対応力強化とC40が掲げる先導的な環境都市づくりを実践しており、今回の「防災TKB」といった新しい概念の発表に共感しています。

公式ウェブサイト (<https://www.takanawagateway-city.com>)

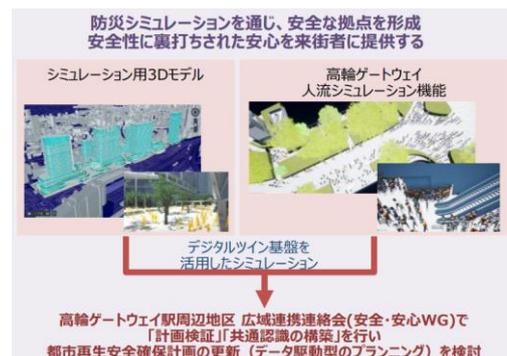
防災等に関する特徴的な取り組み

① 3D都市モデルを活用したエリアマネジメント

国土交通省の「Project PLATEAU」に参画し、街のコンテンツを繋ぎ合わせたストーリーを3D都市モデル空間上で共創・発信する地域住民とのエリアマネジメント活動を通じて、まちづくりのDXの推進に取り組めます。

BIM および PLATEAU のオープンデータを用いて街区内における避難シミュレーションを実施し、それを踏まえて安全確保計画を更新します。

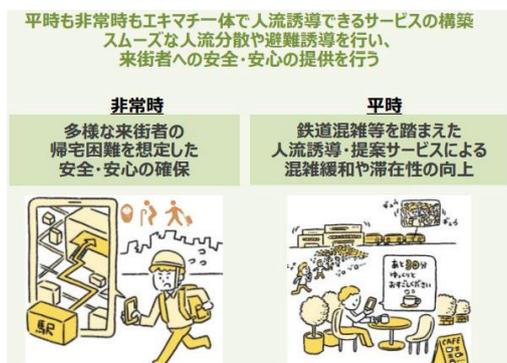
このシミュレーションシステムを避難訓練時の活用や、BCP 検討にも活用し、大規模な地震等が発生した場合においても、人的・物的被害を最小限にとどめ、大きな混乱を発生させることなく、業務継続が可能な防災力を備えます。



② エキマチー一体での人流マネジメントサービス実装

都市 OS に格納された情報を活用し、ロボット、アプリ、サイネージなどを通じて来街者に情報を提供することで、駅とまちが連携し、来街者の移動や滞在を円滑にする提案型サービスの実装を目指します。

非常時にはサイネージを用いて港区と連携した緊急情報の提供を行い、避難・退避に伴う混乱を抑制し、滞留者の安全を確保します。



③ エネルギーマネジメント

THE LINKPILLAR 2 地下の地域冷暖房施設に、国内最大級の蓄熱槽を導入することで、効率の高いエネルギー供給を実現するとともに、災害時に蓄熱槽の水を非常用水(一時滞在施設等

のトイレ用水や消防用水など)として使用することができます。

また、多様な再生可能エネルギーを活用するほか、中圧ガスによる発電が可能なコージェネレーションシステムを整備し、エネルギーの安定供給、BCDの構築を実現します。



今後、開業前に実施したシミュレーションの結果を踏まえた避難計画の検討など、人流の実態を踏まえて施設運営計画等の定期的なブラッシュアップを図り、効率的かつ効果的な避難誘導に活用していきます。

エキマチ一体での人流マネジメントサービスは、開業後の実態を踏まえた人流の分析や適切な情報発信ツールの検討など、より効果的な人流誘導を行うための仕組みの構築を目指してまいります。

BCP (Business Continuity Plan : 事業継続計画)

① 電源の冗長性

自営電源の採用、複数の変電所と送電ルート確保

② 非常用発電機 (デュアルフューエル) の設置

中圧ガスと重油で稼働可能なデュアルフューエル型非常用発電機により電力を確保。

中圧ガスが停止時にも 50%以上の電力量にて 3 日間分の電力確保可能な分量の重油を貯留

③ コージェネレーションシステムからの電源供給

自営電源断絶時も、中圧ガスで電源を供給可能

④ 通信回線

通信回線の引込を 2 ルート化することでリスク低減。大規模災害時にも強固で信頼性が高く、万が一の障害発生時にも復旧がしやすいよう、地区独自の情報通信インフラを街区間で連携して整備し、安定した ICT 環境を形成する。

⑤ 制震構造の採用

制震部材 (ダンパーなど) を組込み、地震の揺れを吸収する構造

⑥ 浸水対策

浸水シミュレーションを行い、防潮板等の対策を実施

⑦ 蓄熱槽水 (THE LINKPILLAR 2 より供給可能)・雨水の利用

非常用水 (トイレ等の雑用水や消火水) として利用

⑧ 一時滞在施設

災害時等の帰宅困難者に対する一時滞在施設として利用 (全街区で約 10,000 人相当の規模で計画)

⑨ 緊急汚水槽・緊急雑排水槽の設置

下水利用不可時、トイレ等 3 日分相当の排水貯留が可能

■一般社団法人 高輪ゲートウェイエリアマネジメントについて

高輪ゲートウェイ駅周辺エリアの更なる魅力と価値の向上を目的としたエリアマネジメント推進のため、2022年4月1日に設立されました。にぎわい創出のためのイベントや、街の安全安心・環境共生に資する活動、周辺地域との連携・コミュニティ醸成などに取り組んでいます。オープンスペースの利活用などに向けた取組みを実施しており、2023年6月に港区より都市再生推進法人の指定を受けました。防災に強い地域・まちづくりに取り組んでいます。

これまでの防災の取り組み

- ① 防災クイズラリーの開催（2023年度～）
- ② 防災フェス（2024年度）

※本イベントの詳細は以下WEBページをご確認ください。

TAKANAWA GATEWAY CITY 公式 HP 内イベントページ

: https://www.takanawagateway-city.com/news/detail_event-tkb.php



【報道機関お問合せ先】

防災 TKB 出初式記念イベント実行委員会（一般社団法人 高輪ゲートウェイエリアマネジメント事務局内）

[TEL:03-5424-1210](tel:03-5424-1210)（平日 10:00～17:00）

contact@takanawagateway-am.jp